

授業科目 助産診断・技術学 III

【担当教員名】 下山 博子 他	対象学年	4	対象学科	看護（助産師コースのみ必修）
	開講時期	前期	必修選択	選択
	単位数	2	時間数	30
【カリキュラムポリシーとの関連性】				
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	◎	◎	◎
【概要・一般目標：G10】 分娩期における産婦と胎児およびその家族の経過と健康に関する助産診断・技術について学ぶ。				
【学習目標・行動目標：SBO】				
<ol style="list-style-type: none"> 産婦と胎児およびその家族の身体的・心理的・社会的状態に関する助産診断について説明できる。 産婦と胎児およびその家族の身体的・心理的・社会的状態に関する助産診断に基づいた助産技術を説明できる。 正常経過を逸脱した産婦と胎児およびその家族に関する助産診断について説明できる。 分娩期の援助技術を実施できる。 分娩期における助産師としての役割・態度について考察する。 				
回数	授業計画・学習の主題		SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	分娩期の助産診断・技術（1）		1～3	講義
2	分娩期の助産診断・技術（2）		1～3	講義
3	分娩期の助産診断・技術（3）		1～3	講義
4	分娩期の助産診断・技術（4）		1～3	講義
5	分娩期の援助技術（1）		1～3	講義
6	分娩期の援助技術（2）		1～4	デモンストレーション、演習
7	分娩期の援助技術（3）		1～4	演習
8	分娩期の援助技術（4）		1～4	演習
9	分娩期の援助技術（5）		1～4	演習
10	分娩期の援助技術（6）		1～4	演習
11	分娩期の援助技術（7）		1～4	演習
12	分娩期の援助技術（8）		1～4	演習
13	分娩期の援助技術（9）		1～4	演習
14	分娩期の援助技術（10）		1～4	演習
15	まとめ		5	
【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)	助産師基礎教育テキスト 第5巻 分 娩期の診断とケア	町浦美智子責任編集 他	日本看護協会出版会	2009・3,600円＋税
参考書	助産学講座7 助産診断・技術学 II [2] 分娩期・産褥期	我部山キヨ子編 他	医学書院	2011・4,800円＋税
	助産師基礎教育テキスト 第7巻 ハ イリスク妊産褥婦・新生児へのケア	遠藤俊子責任編集	日本看護協会出版会	2009・4,500円＋税
その他の資料	必要に応じ随時提示します			
【評価方法】 試験 60% 演習への参加態度ならびにレポート 40%		【履修上の留意点】 リプロダクティブヘルスケア演習 I・II で履修した内容は十分理解したものと して授業を進めます。演習を取り入れ、学んだ知識と技術・態度を統合し、実践能力を 高めていくことをめざします。演習には時間外の時間を多く活用し、自己トレーニ ングすることになります。課題意識をもって主体的に学習し、分娩期における助産 師としての役割・態度について考察してください。		